

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



特集

誓いの式について

- VOICE
- 医学シリーズ 精神科
- くまびょう TOPICS
- 「medigle 紹介患者 Web 予約システム」を導入いたします。

- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



096-353-6565
096-353-6566

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center

熊本医療センター

検索



ホームページ QR コード▲



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 政策医療の推進
2. 救急医療とがん診療の推進
3. 開放型病院による医療連携の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

令和7年10月31日にご来賓の方々、保護者、病院職員が見守る中、誓いの式を執り行うことができました。誓いの式を迎えた79期生1年生は、熊本医療センター附属看護学校に入学し、半年が過ぎました。授業では、看護の基礎となる専門的な知識を学び、患者の病態と学んだ知識を結び付けてアセスメントすることの重要性を学んでいます。また、学生は熊本医療センターでの看護師の看護活動を見学する実習を通して、患者へ配慮し寄り添う姿や他職種と連携しながら、最適なケアを実施する看護師の姿に感銘を受けました。さらに、看護師にとって知識・技術を習得し活用する重要性を実感し、患者一人ひとりにとって、安全で安楽な援助を提供できるようになりたいと思い、日々、看護技術の習得に努めています。

今回、誓いの式にむけて、「看護師に求められるものは何か」「どのような看護師を目指すのか」を深く考え、誓いのことばを決めました。

誓いのことば

一つ 「患者一人ひとりの心に寄り添い、安心と笑顔を届ける看護師」を目指します。

病気だけでなく「人」を見つめ、手のひらを介して心にふれる看護を実践し、患者とその家族の幸せを願い続けます。

一つ 「優れた観察力と冷静な判断力を持ち、臨機応変に対応できる看護師」を目指します。

小さな変化に気づく感性を育み、安全・安楽を守る技術と知識を高め続けます。

一つ 「医療者としての使命感を胸に、チーム医療の一員として、信頼される看護師」を目指します。

多職種間の連携を大切に、医療従事者と患者・家族の架け橋となり、ニーズに応じた適切な看護を提供します。



ナイチンゲール像から灯火を継承した学生たちが、この「誓いのことば」を述べ、決意を新たにしました。この強い決意を胸に刻み、日々仲間と共に切磋琢磨し、新しい知識や技術に挑み、支えてくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、自己の目標す看護師像にむけて、看護の道を歩んでほしいと思います。

また、校長の祝辞で述べられたように、患者様へ敬意を払い、素直で優しい心を持ち続け、患者さまへ気配りができる看護師に成長していくよう学校職員も支えていきたいと思います。

看護学校教員

吉竹 あゆ



独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター附属看護学校 誓いの式



VOICE 登録医の声



院長 よしおか まさかず
吉岡 正一



◆貴院のアピールをお願いします

当院は、宇土半島の先端に位置し、宇城市、宇土市、上天草市が主な診療圏です。半径 20km 以内には、当院以外の病院はありません。また、熊本 - 天草間の中間にも位置しています。こうした地理的関係から、救急外来を備えたケアミックス型病院として、地域に根差した病院を目指しています。また、熊本医療センターを始め、熊本市内の高度急性期病院で治療後の患者さまの転院を積極的に受け入れリハビリを行い、家庭や地域の受け入れ状況を確認しながら、在宅復帰ができるよう努めています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えて下さい

病院の周りには、世界遺産である三角西港を始め、風光明媚な観光スポットが溢れています。魚介類を始め、食の宝庫でもありますが、個人的なお勧めはミカンやネーブル、シャインマスカットといった果実類で、抜群に美味しいです。趣味は、公立図書館で借りた本の読書とゴルフ、週一程度の筋トレです。熊本医療センター勤務時代には、山歩きも大好きでした。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院の診療圏を始め、熊本県は高齢化先進県です。急性期医療からそのままご自宅に退院しても、生活に難渋する患者さまがたくさんいらっしゃると思います。当院では特に、脳血管疾患や整形外科手術後で、ご自宅に帰る前の前段階を当院で引き受けております。宇城、宇土、上天草、天草方面の患者さまの回復期リハビリが必要な患者さまがいらっしゃいましたら、遠慮なくお声かけ下さい。



【診療科目】

内科、外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、
循環器内科、消化器内科、泌尿器科、腎臓内科、
心臓血管外科、糖尿病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、
放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

【診療受付時間】

8:30 ~ 11:00

【休診日】

土曜・日曜・祝日・年末年始

【住所】

〒869-3205 熊

【TEL】

0964-53-1611

【FAX】

0964-53-1618
[HP]
<https://www.sk-misumi.jp/>





No. 311

医学シリーズ

精神科 (No. 9)

最近のトピックス

自殺を防ぐためには

国立病院機構熊本医療センター
精神科部長

はしもと さとし
橋本 聰



日本において自殺で死亡する方は毎年2万人を超えており、先進諸国の中でもワースト水準にあります。この数は交通事故で死亡する方の6~7倍に至ります。「自殺（自死とも表現されます）」ということは、くすり通信を読まれる方の中にはどきっとしたり、目にするのもこわいと思われる方もいたりするかも知れません。実はこのように、自殺の問題を避けて通りたいという気持ちそのものが、予防の正反対になる可能性があるので、今回のくまびょうNEWSでは自殺問題を取りあげさせて頂きました。

まず、死にたい、消えてなくなりたい、自分なんて存在する意味がない等、希死念慮を感じている方にお伝えしたいのは、少しずつでも打ち明けられる誰かを探して頂きたいということです。説教したり、話を逸らしたりする相手に出会うこともあります、そのようなときはすぐに切り上げて、次の誰かを探してほしいと思います。精神科の受診を始め、“社会資源”と呼ばれる、あなたの力になってくれるものが実はたくさんあります。熊本市こころの健康センターはいろいろな困りごとの相談先情報をたくさん持っています (https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2079)。

次に、希死念慮を打ち明けられた周りの方ですが、TALKの原則にそって対応してみてください。Tell（心配しているよということをちゃんと伝える）、Ask（死にたい気持ちを率直に尋ねる）、Listen（話を遮らずちゃんと耳を傾ける）、Keep Safe（希死念慮を抱えた方が実行可能な状況にあるかどうかの安全確認）、この4つの単語の頭文字を並べたスキルです。ただただ聞いて欲しい、そんな場合もあるかも知れませんが、何で困っているのかがわかったら是非相談先につながるように困っている方の背中を押して頂ければと思います。

最後に自死遺族の方たちへ。“自殺”というのは病気だと考えていますが、この病気は時に激しい勢いでひとの人生を奪っていきます。自殺が起きた後に遺される家族や関係者の方にはひとりで長く苦しむ方もおられます。地域のなかには自死遺族の集いなど、匿名で参加できる支えあいの場があります。悲しみは癒えるものではないと思いますが、悲しみを打ち明けられる場を持てることは心がすり減ることを防いでくれるかも知れません。

自殺を防ぐためには、いろいろな思いをことばにして頂くことも役に立つと思っています。もし、この拙文を読んで頂くことで少しでも気持ちを外に出てみようと思つて頂けたなら幸いです。



「medigle 紹介患者 Web 予約システム」を導入いたします。

平素より当院へのご紹介・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

このたび当院では、紹介患者さまの予約業務をより円滑に行うため、「medigle 紹介患者 Web 予約システム」を導入し、12月1日（月）から運用を開始する方向で鋭意準備中です。

まずは33診療科のうち、14診療科から試行的にスタートいたします。

本システムは開業医の先生方専用であり、患者さまご自身での予約には対応しておりません。

Web予約の導入により、従来お電話がつながりにくい状況の緩和が図られることを期待しております。

将来的にはWebへの一元化も視野に入れて進めてまいりますが、当面は電話・FAX紹介も併用いたします。

電話・FAX紹介枠の一部をWeb予約枠として運用するため、当初は限られた枠での受付となります。

Web予約が満席の場合は、従来どおり電話またはFAXにてご連絡ください。

診療情報提供書の送付方法や操作手順については、別途ご案内のうえ、当院ホームページにも掲載いたします。

今後とも円滑な医療連携にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、より使いやすいシステムに進化させていきたいと存じますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

副院長 富田 正郎



くまびよう TOPICS

10/11(土) | 九州国立病院機構学術大会で
新人発表賞と優秀発表賞を受賞

放

【筆者】診療放射線技師：甲斐 千尋

令和7年10月11日に開催された「九州国立病院機構診療放射線技師学術大会」に参加し、輝かしい成果を収めることができました。

今回の大会には全17演題が登録され、そのうち当院からは最多となる6名の技師が発表を行いました。発表者それぞれが日頃の業務で得た知見や創意工夫をまとめ、活発な意見交換を通じて多くの刺激を受けました。

特に、当院の活躍が評価され、当院の技師2名が新人発表賞、筆者自身も優秀発表賞の計3名が受賞し、これらは日々の研鑽の成果であるとともに、上司や同僚の温かいご協力とご支援があってこそだと深く感謝しております。

今回の学会参加を通し、研究活動の重要性と発表技術の向上を改めて実感いたしました。この経験を活かし、今後も知識と技術の研鑽に努め、より質の高い医療提供に貢献できるよう努力を続けてまいります。

【場所】九州医療センター



10/15(水) | 季節の糖尿病教室を開催しました

栄

【筆者】管理栄養士：鬼崎 紘

10月15日に季節の糖尿病教室を開催しました。今回は「秋の味覚御膳」をテーマに、きのこの炊き込みご飯、秋鮭、こんにゃくの金平、サラダ、具だくさん汁、果物（柿、ぶどう）など秋の味覚を楽しんでいただける料理を提供しました。主菜の秋鮭には、第4回ソースレシピコンテストで院長賞を受賞したソースを使用しました。マヨネーズと味噌に細かく刻んだ梅干し、青しそを加え、薬味でさっぱりしていながらも、鮭のような淡泊な味の魚でも満足感を得られるソースになっております。また、金平には食後の高血糖を抑える効果、コレステロールの上昇を防ぐ効果のある水溶性食物繊維が豊富なこんにゃくを使用しました。

参加された方からは、「鮭のソースは、減塩の梅干しで塩分を抑えつつ、薬味を使うことでしつかりした味になっていて美味しかった」などのお声をいただきました。

「秋の味覚御膳」を通して秋の訪れを感じていただけましたら幸いです。

【場所】熊本医療センター



研修医レポート

Medical Intern Report

臨床研修医

ふじもと なな
藤本 奈々



はじめまして。研修医1年目の藤本奈々と申します。熊本大学を卒業し、本年度4月より熊本医療センターで初期研修をさせていただいてあります。研修が始まり、8か月が経とうとしていますが、優しく指導してくださる先生方や医療スタッフの方々、個性豊かな同期に支えられながら、日々学ぶことが絶えず充実した研修生活を送ることができています。

私は脳神経内科から始まり、これまでに内科、外科、救急科をローテーションさせていただきました。内科では電子カルテの使い方から薬の処方、検査のオーダーなど初步的なことから丁寧に教えていただきました。ローテーションさせていただいた脳神経内科、消化器内科、循環器内科では、髄液検査、内視鏡検査、心臓カテーテル検査と、その診療科以外では触

れる機会がないような多くの手技も勉強させていただきました。患者さまへの接し方はもちろん、これらの繊細ながら無駄のない先生方の手技には学ぶべき点が多く尊敬の念を抱きます。

外科では学生実習とは異なり自ら手を動かしながら手術に参加し、急性期の手術から緩和ケアを含めたがん治療まで幅広く学ぶことができました。救急科では緊張感が漂う環境であり、不安も大きかったです。その中でも自分の手で行う基本的診療の大切さ、患者さまやご家族への接し方や配慮なども丁寧に教えていただきました。これからも救急外来業務に従事していく中で活かしていけたらと思っております。

どの診療科も6週間ではまだまだ学び足りないと痛感する場面も多く、その分だけ成長の余地があると前向きに取り組んでまいります。

多くの方々の支えにより今の研修生活が送れていることに感謝しながら、初心を忘れずに日々精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

臨床研修医

きよはら たくろう
清原 拓郎



こんにちは。研修医1年目の清原拓郎と申します。熊本大学医学部医学科を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期研修医をさせていただいてあります。不安と期待を抱きながら入職した4月、右も左も分からないまま突き進んでやっと少し気持ちに余裕ができた今日この頃です。

私は今までに麻酔科、腎臓内科、外科、神経内科で研修させていただきました。そして現在は代謝内科をローテートさせていただいてあります。その中で特に印象深いのははじめにまわった麻酔科での研修です。

カルテの書き方はもちろん、患者さまとの接し方さえわからない状態でのスタートでした。お互いのことをまだよく知らない研修医の仲間と、麻酔科の研修がはじまりました。麻酔科は、ルート確保や気管挿管など、大学を卒業したばかりの私たちにとってはハーダルの高い手技が数多くありました。毎日が初めてのことの連続でしたが、先生方はみな優しくて手取り足取り指導してくださいました。覚えが悪く、イライラさせたこともあります。

たとは思いますが、基礎の基礎から優しく教えてくださいました。学生のころに、初期研修医になるにあたって抱いていた不安は、先生方のおかげであつという間に消えていました。先生方には本当に感謝しております。

その中でも特に印象に残った出来事があります。麻酔科は毎日指導してくださる先生が変わるのであるのですが、ある日私を担当してくださった先生は、私の手技が頼りなかったのもあり、様々なアドバイスをくださいました。私としては自身の不甲斐なさに反省も多く、もっとこうすれば・・などと思い返しながらその後の麻酔にあたっていました。するとその後先生は私なりに一生懸命研修をしていたことを見てくださっていて、「手技はもう少しだけど、君の姿勢はいいよ。将来いい医者になれるように頑張ってね。」と声をかけてくださいました。その言葉をいただいてから、「いい医者」というものを意識するようになり、それに向かって頑張りたいと思うようになりました。今も私の原動力になっております。

業務に慣れてきたとはいえたが働き出して半年、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることばかりとは思いますが、どの科の実習でも先生方は優しく、常に私たちのことを考え味方でいてくださいます。私たちが成長できるのは周りの皆様のおかげだということを忘れず、これからも、精進し成長してまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

2025年12月 研修のご案内

二の丸モーニングセミナー

日時▶12月4・11・18・25日（木）8:30～9:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

公開肝臓病教室

日時▶12月7日（日）14:00～16:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第319回月曜会（内科症例検討会）

[日本医師会生涯教育講座1.0単位認定]

日時▶12月15日（月）19:00～20:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1 総合診療科からの一例 2 糖尿病・内分泌内科からの一例

第87回 診断と治療－最新の基礎公開講座－

[日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶12月20日（土）15:00～17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

「汎血球減少の鑑別と診療方針」

座長 九州中央リハビリテーション学院学院長

河野 文夫 先生

（1）汎血球減少の鑑別と治療方針

国立病院機構熊本医療センター診療部長 / 血液内科部長

河北 敏郎

（2）骨髄異形成症候群の病態と治療

国立病院機構熊本医療センター血液内科部長

原田 奈穂子

（3）再生不良性貧血治療の進歩

熊本大学大学院輸血・細胞治療部助教

上野 志貴子 先生

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶12月23日（火）19:00～21:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

研修へのお問い合わせはこちら

研修センター

国立病院機構熊本医療センター

QRコード▶

地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)



診療科	月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝 久保崎 順子 川口 湧水	
	血液	河北 敏郎 樋口 悅介	原田 奈穂子 田口 謙	河北 敏郎 渡邉 美穂	日高 道弘 河北	
	糖尿病・内分泌	西川 武志 (午前新患) 西田 周平 (午前再診)	西田 周平 (午前新患) 西川 武志 (午前再診)	西川 武志 (午前新患) 井手口 拓弥 (午前再診)	渡邊 拓郎 (午前新患) 有菌 功一 (午前再診)	
	呼吸器内科		熊大師 (院内コンサルト)			
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		
	腎センター 外来	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	畠中 利暉	
	その他	C K D 外来	C K D 外来	C K D 外来		
	腫瘍内科	境 健爾	境 健爾 榮 達智	境 健爾 (2・4週)	境 健爾 (1・3週) 榮 達智	
	1 診	楠本 周平	杉 和洋	杉 和洋	立山 雅邦	
	2 診	松山 太一	立山 雅邦	松山 太一	赤木 由理恵	
	3 診	源 和也	赤木 由理恵	楠本 周平	富口 純	
	4 診					
消化器病センター (消化器内科)	午前 (~13時)	立山 雅邦 富口 純 大賀 貴博 赤木 由理恵	楠本 周平 源 和也 松山 太一	松山 太一 楠本 赤木 由理恵 大賀 貴博 源 和也	立山 雅邦 富口 純 源 和也 大賀 貴博	
	午後 (13時~)	立山 雅邦 赤木 大賀 貴博 富口 純	松山 太一 富口 純 楠本 周平 源 和也 大賀 貴博	立山 雅邦 松山 太一 赤木 由理恵 源 和也 楠本 周平	立山 雅邦 富口 純 源 和也 大賀 貴博 赤木 由理恵	
	超音波室	杉 和洋	富口 純 大賀 貴博	立山 雅邦 杉 和洋	岡本 有紀子 赤木 由理恵	
	新患	木村 優一 山村 智	有馬 義博 尾崎 淩志郎 (隔週)	片山 哲治	松原 純一	
	再来	田山 信至	松原 純一	山村 智	有馬 義博 尾崎 淩志郎 友宏	
(心臓血管外科)	手術日		岡本 健	田中 瞳郎 (再診)	手術日	
精神・神経科	初めての方 2回目からの方					
小児科	診察	水上 智之	興梠 雅彦	岡田 拓巳	水上 智之	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之	
	血液		興梠 雅彦 右田 昌宏			
	アレルギー		渡邊 優 (予約のみ)		渡邊 優 (予約のみ)	
外科		中川 茂樹 日高 香織 (2・4週) 小野 明日香	水元 孝郎 松本 克孝 高津 研翔	岩上 志朗	宮成 信友 黒木 秀幸	
脳神経センター (脳神経外科)		中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	堀 遼太 大塚 忠弘	中川 隆志 伊東山 剛	
(脳神経内科)	1 診	幸崎 弥之助	田北 智裕	高松 孝太郎	小阪 崇幸	
	2 診	高松 孝太郎	小阪 崇幸	井村 真男	幸崎 弥之助	
整形外科	午前	満瀬 葉介 (新患) 福元 哲也 (新患) 3 診	手術日	前田 智 (新患) 福元 哲也 (新患) 福田 和昭 (新患)	手術日	
	午後	1 診 2 診 3 診	興梠 航 (再診) 福元 哲也 (再診) 福田 和昭 (再診)	福田 浩平 (再診) 中瀬 啓太 (再診)	手術日	
泌尿器科		前田 喜寛 担当医	菊川 浩明 鶴島 智洋 神尾 琢克伸	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 矢野 大輔 村上 栄敏	
産婦人科		高木 みか 瀬尾 優太朗	山本 直 坪木 純子 米田 征義	手術日	高木 みか 坪木 純子 瀬尾 優太朗	
感覚器センター (眼科)		渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	(手術日)	渡邊 隆弘 中原 敦子 高田 遼	(手術日)	
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日		上村 尚樹	手術日	上村 尚樹	
感覚器センター (皮膚科)	初診 (紹介あり) 再診 (初診 その他)	山下 淳二 稻葉 かずは 山下 淳二	牧野 公治 大溝 耕一郎 牧野 公治	稻葉 かずは 山下 淳二 稻葉 かずは	担当医 (手術日)	
形成外科		(午 後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 室田 啓介 植田 遥子	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後)	
放射線科	治療 (予約制) 画像診断		富高 悅司 根岸 孝典 浅尾 千秋 伊藤 加奈子 井上 聖二郎 金 健志 吉松 俊治			
麻酔科		宮崎 直樹 (術前診察 / 麻酔相談)			(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)	
緩和ケア外来		境 健爾	境 健爾	境 健爾 (2・4週)	境 健爾 (1・3週)	
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 森 久美子 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	中島 健 谷口 広祐 東 真有香 上田 夏野	
救命救急センター		櫻井 聖大 波沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 久保崎 順子 吉村 文孝 深水 浩之 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 波沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 國友 耕太郎 川口 湧水 深水 浩之 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 波沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 深水 浩之 木村 文彦 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 波沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 松本 克孝 深水 浩之 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 亮	櫻井 聖大 波沢 崇行 清水 千華子 伊東山 剛 橋本 聰 深水 浩之 木村 文彦 大本 寛之 笹尾 駿介 山本 亮
看護外来	ストーマ がん看護 移植後フォローアップ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	
		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
		担当看護師	担当看護師	担当看護師	担当看護師	

(注) 担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合もございますので、御了承ください。

R7/12/1